



®は日本バイオスティミュラント協議会の登録商標です。

【報道資料】

日本バイオスティミュラント協議会 第9回講演会のお知らせ

—Patrick Brown 博士が来日、バイオスティミュラントの国際動向について語る—

来る2026年4月1日、日本バイオスティミュラント協議会(Japan Biostimulant Association, 以下 JBSA)は『バイオスティミュラントを知る ～バイオスティミュラントの国際的潮流と日本の最前線～』と題して、第9回講演会(後援: 日本土壌肥料学会)を開催いたします。

本講演会では、当分野で国際的に活躍されている Patrick Brown 博士をお招きしてバイオスティミュラントの国際動向についてご講演いただくほか、藤原 徹 氏(東京大学)、関 原明 氏(理化学研究所)をはじめとする専門家の皆様にバイオスティミュラントの最前線について語っていただきます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【講演会概要】

タイトル: バイオスティミュラントを知る ～バイオスティミュラントの国際的潮流と日本の最前線～

日時 : 2026年4月1日(水) 13:00～17:50(講演会)、18:00～20:00(情報交換会)

場所 : 東京大学 弥生講堂 一条ホール

東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内

開催方法: 現地およびオンライン配信(Zoom)のハイブリッド開催

会場参加の方は同時通訳のご利用に際してスマートフォンとイヤホンを使用しますので、必ずお持ちください。(会場での同時通訳にはパケット通信料がかかります。通信量は23 MB/h程度と少量ですが、事前にご自身のデータ残量をご確認ください。尚、会場にWi-Fiの提供はございません。)

定員 : 講演会(会場参加) 160名、情報交換会 70名。定員になり次第申込終了

参加費 : 講演会/無料、情報交換会/5,000円。当日受付にて現金払いのみ対応

後援 : 一般社団法人 日本土壌肥料学会

【プログラム】

12:00 開場・受付開始

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～13:15 日本バイオスティミュラント協議会の紹介

13:15～14:15 Opportunities for biostimulants to meet climate challenges: Physiological mechanisms and regulatory challenges.

カリフォルニア大学デービス校特別教授 Patrick H. Brown 氏

休憩

14:30～15:10 食料生産の現状と植物科学の進展: バイオスティミュラントへの期待

東京大学教授 藤原 徹 氏

15:10～15:50

低濃度エタノールを用いた EGAO 技術による気候変動対応型・持続可能な食料生産
理化学研究所チームディレクター 関 原明 氏

休憩

16:00～16:20

バイオスティミュラントの表示等に係るガイドラインの解説
農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課

16:20～16:40

JA 全農の取組み
JA 全農 耕種資材部

16:40～17:00

タネとバイオスティミュラント（現場の使用事例から）
株式会社サカタのタネ 高木 篤史 氏

17:00～17:50

総合討論

【参加方法】

参加をご希望の方は、以下のリンクから事前登録をお願いいたします。定員に達し次第、受付を終了いたしますので、お早めにお申し込みください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_G87Lw50VRhK_rr1fnwk4RA#/registration

【アクセス】



- ・東京メトロ南北線 東大前駅 徒歩 1 分
- ・東京メトロ千代田線 根津駅 徒歩 8 分

【講演会告知サイト】



日本バイオスティミュラント協議会 講演会

第9回 特別講演

バイオスティミュラントを知る

～バイオスティミュラントの国際的潮流と日本の最前線～

カリフォルニア大学
デービス校
植物科学部
特別教授
Patrick H. Brown氏
(発表は同時通訳あり)

東京大学大学院
農学生命科学研究科
応用生命化学専攻
植物栄養・肥科学研究室 教授
藤原 徹氏

理化学研究所
環境資源科学研究センター
植物ゲノム発現研究チーム
チームディレクター
関 原明氏

株式会社サカタのタネ
ソリューション統括部
土壌微生物・施肥技術
シニアマイスター
高木 篤史氏

農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課、JA 全農 耕種資材部からも発表あり

参加方法 東京大学農学部弥生講堂一条ホール / オンライン配信 (いずれも無料)

情報交換会 5000円 (講演会終了後に開催)

【後援】一般社団法人日本土壌肥科学会

2026年
4月1日(水)
13:00~17:50